



京都外国語大学  
Kyoto University of Foreign Studies  
京都外国語短期大学  
Kyoto Junior College of Foreign Languages

2019年（令和元年）5月30日

報道関係者 各位

京都外国語大学ラテンアメリカ研究所主催 第18回ラテンアメリカ教養講座  
民族楽器の奏でるラテンアメリカ文化(取材案内)

京都外国語大学ラテンアメリカ研究所では、6月5日より毎週水曜日に、教養講座「民族楽器の奏でるラテンアメリカ文化」を開催致します。(全5回)

本講座では、ラテンアメリカが持つ豊かな民族文化の一つである音楽・民族楽器に焦点を当て、それらを育んだ社会や文化、歴史を学びます。また、珍しい楽器の音色や独特のメロディー、リズムもお楽しみいただきます。諸事ご多忙とは存じますが、是非とも取材いただきますよう、ご案内致します。なお取材をご希望の際は、事前に下記まで連絡ください。

【日時】：2019年6月5日より毎週水曜日（全5回）18：00～19：10

【会場】：京都外国語大学1号館7階小ホール

【後援】：京都ラテンアメリカ文化協会

※申込不要・入場無料

**民族楽器の奏でるラテンアメリカ文化**

申込不要 入場無料

日時 2019年6月5日より毎週水曜日 全5回 18:00~19:10

会場 京都外国語大学1号館7階小ホール

**第1回 6月5日(水)**  
カリブ海周辺国の民族楽器  
野村 英男 (ラテン音楽DJ)  
中南米諸国には欧州のラテン系の人たちが大挙移民してきました。やがて、現地の労働力不足を補うため、アフリカの黒人達を奴隷として持ち込みました。カリブ海周辺の国々ではこの様な黒人の影響が大きく、現在でも珍しい楽器が使われています。主なものを曲と共に紹介します。

**第2回 6月12日(水)**  
ブラジル音楽におけるトルコ  
～アラブ音楽の影響～  
ケベル 木村 (音楽ライター、打楽器演奏家)  
ブラジルで現在絶大な人気を誇るフォークという大衆音楽で大事な役割のザブンバという太鼓のルーツを調べていたら、アラブやトルコの音楽にたどり着きました。そんなザブンバの演奏法やリズムパターン、そしてブラジル北東部の豊かな音楽をご紹介します。  
● 使用楽器 ザブンバ

**第3回 6月19日(水)**  
陽気なだけじゃない！  
深遠多様な"黒い"キューバ音楽  
～アフリカへ通るキューバンパーカッションの世界～  
北口 葵子 (演奏家/DJ/イベントオーガナイザー)  
「キューバ音楽」というサルサやマンボ、チャチャ...と明るく陽気なリズムを思い浮かべるのでは。実はそのリズムの根底にあるのは、アフリカ起源の宗教であるサンテリア、バロ、アバクアなどの儀式音楽。今回は儀式用の楽器演奏を交えて「黒いキューバ音楽」を体感していただきます。  
● 使用楽器 バタ、コンガ、シェケレ、クラベ 等

**第4回 6月26日(水)**  
メキシコ農民村祭りの音楽  
～音は音らしく、今はうれしく～  
長田 里 (ジュエリー作家(BATIVA))  
ソン・ハロッチョはベラクルス州南部の農村祭りの音楽だ。100年前の音を伝える農民演奏家達も高齢化する中、一度失われかけたこの音楽に今、若者達が新たな命を吹き込んでいる。楽器演奏、詩歌、タップダンスから成り、老若男女が夜を明かすこの祭り音楽の構成、機能、歴史、現状をお話しします。  
● 使用楽器 ハラナ

**第5回 7月3日(水)**  
南米における管・弦楽器の変遷  
野村 英男 (ラテン音楽DJ)  
民族楽器は、日常の生活をとりまく自然環境や社会環境の影響を受け変遷発達してきました。ここでは、アンデスの高知に住むインカの血を引く人達や先住民、メスティゾと呼ばれる混血の人たちが使っている特徴的な管や弦楽器を中心に紹介します。

以上

【発信元・取材申し込み先】

京都外国語大学・京都外国語短期大学 広報室 [担当：奥村・福本]

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6

TEL : 075-322-6219 E-mail : koho@kufs.ac.jp